

[成果情報名] 農業における障がい者雇用創出に向けたゴマ経営モデルの作成

[要約] 福祉事業所において障がい者によるゴマ栽培を実証し、農作業に対する工夫や作業時間、生産費などを明らかにしたゴマの経営モデルを作成した。

[キーワード] 農福連携 障がい者雇用 ゴマ

[担当] 三重県農業研究所 地域連携研究課

[分類] 普及

[背景・ねらい]

新たに福祉事業所が農業参入する場合や農業経営体が障がい者雇用を行う場合には、障がい者に適した作業がないことや、農業における障がい者雇用のノウハウがないことが大きな障壁となっている。このため、県内の福祉事業所への実態調査を通じて、新たな福祉事業所が農業分野に参入する場合や、農業経営体が障がい者を雇用する際に活用できるゴマの経営モデルを作成する。

[成果の内容・特徴]

1. 生活介護事業所において、障がい者によるゴマ栽培を実証した。ゴマ栽培に従事した障がい者は14名で、農業経験年数が1～9年、日常生活能力の最重度の者が2名、重度が4名、中度が6名、軽度が2名であった(表1)。
2. 障がい者に円滑に農作業に取り組んでもらうため、実証事業所では播種、除草・間引き、脱穀、調整をそれぞれ3工程、収穫を6工程に作業分割している。農作業に対する工夫・改善は「適材適所」が最も多く、障がい者が作業を行うすべての工程で見られた。また、畦立てで「視覚判断」の工夫を行っており、除草、結束、乾燥の工程で「道具の工夫」を行っていた(表2)。
3. 実証事業所におけるゴマの経営収支は、10a当たり収量が63kgの場合、売上高125,333円で、必要経費が107,946円となり、所得は17,387円であった(表3)。
4. 作業ごとの工夫や作業時間、生産費などを明らかにしたゴマ経営モデルを作成した(図1)。

[成果の活用面・留意点]

1. 実際に障がい者がゴマ栽培を行っている事業体への調査結果に基づいていることから、これから障がい者がゴマ栽培に取り組む際の参考にできる。

[具体的データ]

表1 実証事業所の概要

事業所の種類	生活介護事業所
農業部門の労働力	職員1～4人、障がい者14人
障がい者の年齢	22～57歳
農業経験年数	1～9年
障がいの種類	知的障がい
日常生活能力	最重度2人、重度4人、中度6人、軽度2人

表2 作業分割状況と農作業に対する工夫・改善

作業内容	作業分割状況	作業人数				農作業に対する工夫・改善			作業を円滑に取り組んでもらうための工夫
		最重度	重度	軽度	職員	視覚判断	道具の工夫	適材適所	
播種	畝立て				1	○			畝が目安になり、障がい者だけでまっすぐ播種が可能
	畝の整形		1	1				○	鋬が使用でき、かつ畝を整える判断ができる軽度の障がい者を配置
	播種	1	1					○	重度の障がい者が播種できるよう、種まき機の操作を二人一組で行う
除草・間引き	除草	2	4	4	1		○	○	障がい者の能力に応じて、三角鋬、小型の草削り等道具を使い分ける
	間引き		2		2			○	間引く苗を判断できる軽度の障がい者を配置
	畝間の除草・土寄せ			1				○	管理機の操作が可能な軽度の障がい者を配置
収穫	刈り取り	1	2	3	1	1		○	適期収穫するため全員で収穫作業を行う。適性・体力に合わせて細かく作業を分担する
	ネットの準備		1					○	刈り取りする者のペースに合わせてネットを準備できる障がい者を配置
	結束			1	1			○	花出荷用の包装ネットを使い、より簡単に結束と運搬ができるようにする。一定量を束ねる判断ができる、判断能力の高い障がい者を配置
	積み込み	1	1					○	体力のある障がい者を配置
	運搬				1				
	乾燥			2				○	○
脱穀	脱穀	2	2	1	1			○	ハウス内の環境(暑さ)に配慮する
	回収		4	1	1			○	ハウス内の環境(暑さ)に配慮する
	篩い			1				○	2回の篩い作業を行うため、能力の高い障がい者を配置
調製	唐箕投入		1					○	一緒に調整作業をする障がい者に声掛けし、作業行動を促せる障がい者を配置
	排出	1						○	作業分担により重度の障がい者でも作業が可能。ずっと座っていることができる障がい者を配置
	篩い		1					○	作業分担により座ったままで作業が可能。体力のない障がい者を配置

表3 実証事業所におけるゴマの経営収支

科目		金額	概要
売上	項目	小計	
	売上高	125,333	62.7kg/10a
経費	項目	小計	
	種苗費	0	自家採種
	肥料費	22,934	堆肥, 土壌改良剤, 有機配合肥料
	諸材料費	6,580	収穫用ネット
	燃料費	4,002	ガソリン、軽油
	減価償却費	35,714	トラクタ
	修繕費	12,500	
	賃借料	5,000	乾燥用ハウス
	賃金	18,216	障がい者工賃
	出荷経費	3,000	
計	107,946		
差引所得		17,387	



図1 ゴマ経営モデル (抜粋)

(飯場 聡子)

[その他]

研究課題名: 新たな農業の担い手発掘事業

予算区分: 県単

研究期間: 2014 年度

研究担当者: 飯場聡子